（松本地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	生坂村歴史文化遺産「一星亭」周知・再生プロジェクト
事業主体 （連絡先）	生坂村 （担当：教育委員会社会教育係　　電話：０２６３－６９－２５００）
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,058,769 円（うち支援金：774,000 円）

事 業 内 容

村内初の国登録有形文化財である「一星亭」を活用するため取り組んでいる「一星亭周知再生プロジェクト」。

今年度は、一星亭の認知度の向上のため、周知事業として「一星亭見学会」を昨年度に引き続き開催するのに加え、一星亭説明看板の設置、一星亭紹介パンフレットの制作・配布を行った。

また、今後の一星亭の活用に向けた再生事業として、建物内にある収蔵品の整理を行ったことに加え、地域づくりについて詳しい講師の方をお呼びして「今後の一星亭を私たちはどうしたいか」というテーマで「一星亭ワークショップ」を開催し、今後の当事業や一星亭について意見を聴取しながら方針を決定した。

【ワークショップの様子】

【目標・ねらい】

①「一星亭」の認知度向上
②今後の活用に向け収蔵品の整理
③今後の当事業について検討

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①「一星亭見学会」を開催。参加者は第１回７名、第２回６名、のべ 13 名（目標値：各 20 名）となり、村内外へ周知を行うことができた。

また、生坂村公民館主催の「写真教室」と連携した「一星亭撮影会」を開催し、地域住民の認知度を向上させることができた。参加者は６名。

②一星亭整理・片付け作業を実施。参加者は第１回５名、第２回４名、のべ９名（目標値：各回 10 名程度）となり、昨年着手できなかった土蔵の整理を行った。

③「一星亭ワークショップ」を開催。参加者は第１回７名、第２回６名、のべ 13 名（目標値：20 名程度）となり、今後の事業方針について協議することができた。

※自己評価【Ｃ】

【理由】
・まだ膨大な収蔵品が残っており、今後も整理を行う必要がある。
・小中学生向け事業をいくつか企画したが、参加者が集まらなかった。
・ワークショップを行ったが、情報共有や意見の聴取のため、今後も継続していく必要がある。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。（今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など）。

生坂村歴史文化遺産「一星亭」周知・再生プロジェクトは、令和５年度より元気づくり支援金事業を活用し、周知・再生事業に取り組んできた。

令和８年度からは、一星亭ワークショップで協議した結果をもとに、「村民誰もが利用できる多目的施設」を最終目標とし、活動に取り組んでいきたい。

しかし、施設の耐震化や破損個所の修繕など、村単で本事業に着手していくのは困難を極める。そのため、今後はいくさか大好き隊（地域おこし協力隊）や地域住民と今年度着手しきれなかった収蔵品の整理や草刈り等の体制整備、見学会等の周知活動に力を入れていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある